「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

講演をきいて、記者の仕事とかあまり聞かないし、興味ももっていなかったけど、いろんな記事をつくってて、聞いてておもしろかったです。事件とか1つのことだけでなく、いろんな分野に分かれてそれぞれの出来事についてこまかく、公平に記事をかいてるのも初めて知りました。あとは、芸能人とかに会えるって言ってたので、僕も好きな女優とかに会ってみたいなって思うので、記者の人ってうらやましいなっておもいました。あと歴史的な瞬間にも立ち会うことができるのがだいごみだなとも思いました。今回のお話でいままで知らなかった記者のことに興味をもつことができたし、そんな新聞をよくよむようにしたいなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今まで、新聞は、あまり読まず、自分の興味のある内容があるときや番組表を確認するときぐらいしか見ていなかったです。でも、今回の講演を聞いて、新聞は、読者が少しでもわかりやすいように工夫されていたり、記事の内容1つに関してもインタビューをして、その内容をよりくわしく書かれていることを知って、新聞を見るだけで最新の出来事がだいたいわかるのに、今までそれを見ようとしていなかったことに対して少し後悔をしてしまいました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞をあまり読まない人だから今日聞いたことで分からないことも多くあったけれど、裏話みたいなものが聞けて良かったです。新聞記者は自分が興味のない内容まで社会のために取材に行かないといけないのはとても大変な仕事だなと思いました。新聞を読むと知らないことを知ることができるし、社会の出来事を理解することをできると分かりました。これを機に読もう・読みたいと思うことができたらいいなと考えました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

最近はニュースをスマホで見る機会が多いですが、講演を聞いて新聞が読みたくなりました。1つの記事を完成させるために、現地への取材や、下調べなど、たくさんの努力があることを知りました。新聞記者をすることはさまざまな分野の記事を扱うことになるので、自分の知らなかったことや興味のなかったことにも出会える素敵な仕事だと思いました。時事的なことを常識として知っておくことが必要なので、日常的に新聞を読むことは大切だと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今回の講演を聞いて、新聞を読むことは大事だなと思いました。自分の関心のあることや興味のある記事などを読んで、自分の知識も増えるし、これを生かして、大学入試のときにも使えるなと思いました。また、1日の新聞を製作するのに何百人ものんたちが携わっていて、事故や事件などの速報は30分から1時間程でネット上に記事として出されることに驚きました。これを機に、少しでも新聞を手にとってみようかなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞記者は取材で遠い所まで行かないといけないので大変だなと思いました。カラス天狗の記事を書いた話で、カラス天狗が本当はトンビだったという記事を書いたらロマンが無くなるみたいな理由で怒られるのはなんかかわいそうだなと思いました。今日の話を聞いて自分がやりたいと思ったことや気になったことには積極的に挑戦しようと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

早川さんの講演をきいて思ったことは、色々なことに興味を持つことは大切だということです。一見関係のないように見えるものでも調べてみたりすればこんなつながりがあったのかという発見があったり、そういえばあんなことを見たことがあったということがあったりして自分にもどってきたりするんだと思いました。いろいろなことを知ることは絶対に悪いことではないと思うので、明日から少し新聞を読んでみようと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

いつも新聞は深く考えずに読んでいたし、取材のことなどもそんなに考えたこともなかったけれど、今日の話をきいて、いつも何気なく読んでいる新聞に自分達が考えられないくらい多くの人が関わって記事を書いているのかが知れたし、それを毎日出すというのがどれだけすごいことかが分かりました。
すぐに取材して記事にするものや、時間をかけて取材をするものもあるということなので、記事、取材のスケジュール管理や、いつ記事を出すかのタイミング調整なども大事なのかなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日の講演を聞いてグループで取材をして記事を書くのではなく1人で記事を書くということが印象に残りました。また新聞記者が記事にすることで注目されることもあるということを知りました。そしてデスクという人が他の人が書いた記事をチェックして客観的に見て、直しをすることも初めて知ったので驚きました。さいごに今日の講演会で新聞記者の仕事内容や新聞についていろいろなことが知れてよかったです。家で新聞をとっているのでこれから積極的に読んでいこうと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

普段は新聞を読むなんて考えたこともなかったのに、今日の講演会で新聞の本質や、面白さが理解できたので、これからはなるべく新聞を読んでいこうと思います。さらに、新聞記者の仕事について色々なことを知ることができたので、自分の知識が増えて良かったなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私たちが普段読んでいる新聞はどのようにして作られているのかを深く知ることができました。講演で紹介されていた新聞記事は、どれも興味があるもので、みていて楽しかったです。新聞記者としてのお仕事の話はとてもおもしろく、「そんなこともしているんだ。」という発見もありました。私は普段、新聞を数面のみ読んでいるのですが、今回の講演を聞いて、全て読んでみようと思いました。普段なら絶対に読まないスポーツの部分もしっかりと読んでみようと思います。新聞を読むことの意義を知ることができた講演でした。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

この講演を聞いて、新聞記事はたくさんの人が関わっていてその人達が取材などを通じて書かれていることが分かりました。そして、新聞記者の仕事はいろいろな業種の人や出来事と関わりを持っていて、新聞記事を書くときには、様々な観点から記事の内容を考えたりしていることを感じました。これから新聞記事を読んでいく中で1つ1つの記事はたくさんの人の努力の上で書かれてあることを思いながら読みたいです。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

やっぱり勉強は大事なんだと感じた。記者って、記事を書くから文章力は必要だなと思っていたけど、インタビューだって相手が勝手に話してくれる訳じゃないから、自分が疑問に思ったことをきかないと記事にはできないから、何も知らないと困るんだと思った。また、興味を持たないとという言葉は、印象にのこった。たしかに言われて、いやいやしていても読書が読んでもおもしろくはないだろうし、新しく発見なんてできないと思った。これから、いろんなことに興味を持って考えていきたい。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

新聞は様々な分野の記事が載っていて、てっきりこの分野担当と決めたら変更はないと思っていたし、自分の得意な分野を取材すると思っていたけど実際は転勤する度に変わっているので、記者大変だなあと感じました。また、様々な分野の取材をするので、仕事をしているうちに色んな視野で物事を捉えられるようになると思うとそれはすごく社会において役立つスキルでもあると思うので、大変な職ではあるけど羨ましいです。今回の講演をきくまでは新聞には少しも興味なかったし、今後も読まないだろうと思っていたけど、多くの人々が努力して書き上げたものなので、機会があれば読んでみようと思います。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

私の家では普段から新聞をとっており、私は新聞を読まないので
ママが朝の方から大きなニュースがあった際におしえてもらっています。
そして今回の講演をきいて、私の聞いているニュースの他にも、
歴史や、私たちの地元に関する記事が書いてあることを知り、今後の
政治や、社会情勢などに目をつけるため、自分の興味のある
記事から読んでいきたいと思います。私が最初に読もうと思う
のは、一番大きな見出しの記事を朝ごはんをたべているときに
見て見たいと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

自分の分野一つを取材しつづけるのではなくて、いろんな場所にうつって
いろんな分野を取材するんだと分かりました。
転勤しないといけないのは、たいへんだと思ったけど、有名な人
に会えて話をきけたり、いろんな人に取材をするのはとても魅力的な
仕事だなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今までどんな取材をしてきたのかの話で、すごい、たくさんの県や地方に行っていて、様々なジャンルに関しての記事を書いていたので、とてもすごいなと思いました。新聞記者の仕事は誰よりも早くにみんなが知らないような情報を見つけて、取材し、記事にすることですが、すごく大変なのに毎日記事を書けるのがすごいと思います。最後に、たくさんの経験をすることは大切だと言っていて、自分もこれからたくさんの興味があることを見つけて、いろいろなことを体験して、社会人になってからも、たくさんの経験を積んでいき、自分にとって良い生活を送ろうと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

どんな内容の話なんだろうと思っていて、今までの記事の内容を話していたのでとても興味がわきました。12回も転勤していたので記者は忙しいと思いました。新聞記者の良いなと思ったところは有名人と会えたり、いろんな事件や出来事を仕事でその場まで行けるところだと思いました。いろいろな経験ができると思ってとても興味がわきました。特に心いえうたさんが今よりも有名ではない時に取材をしているのがすごいと思いました。新聞は毎日作っているので仕事は大変ではないのかなと思いました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

家で新聞を取っておらず、新聞といえば政治や災害などのニュースばかりで堅苦しいというイメージだったのですが、地元の小話だったりコーモア系の記事もあると知って驚きました。

クラスでは「受検に関係のない授業は寝ろにしてもいい」みたいな空気が少しあるのですが、新聞も受検に関係のない教科も、知っていて損はなくいつか役に立つと思うことができました。

「新聞記者の仕事とは」（読売新聞姫路支局　早川保夫様）の講演を聞いて

今日のお話を聴いて、一概に新聞記者といっても様々な仕事があるのだなと思いました。一人ひとりに担当が決まっているのも知らなかったし、日本全国だけでなく、海外にも記者の人がいることも知りませんでした。このような機会がないと知ることができないことをたくさん知ることができたのでよかったです。私の家は一応新聞はとっているけど経済新聞でとても難しいので読む気になりません。なので、ネット記事などを通して触れていきたいと思います。